

ヨコハマポートサイド

ヨコハマ・クリエーション・スクエア、ロア番館、ヨコハマポートサイドビル、ザ・ヨコハマタワーズ他

神奈川県
横浜市

E-1～E-3街区：市施行（3.96ha）平成6年3月工事完了
F-1街区：組合施行（2.02ha）平成15年9月工事完了

横浜において再開発事業により新しい都心複合市街地を形成した先駆的事业

地区選定の主旨

横浜駅至近でありながら倉庫・工場等の低利用に留まり高速道路や国道で分断されていた当地区において、市街地再開発事業による施設整備に加え、住宅市街地総合整備事業及び地区計画により土地利用更新と良好な開発への誘導を図り、都市型住宅を中心とする新たな複合市街地を形成した。デザインを重視した質の高いまちづくりを実現すべく、「アート&デザインの街」を街づくりの基本テーマに、事業推進上の共通ルールとして「街づくり協定」を締結しており、運用面においても「街づくり協議会」によって特色ある街づくりを推進している。

再開発の目的と概要

ヨコハマポートサイド地区（約25.1ha）は、横浜駅東口から至近距離に位置しているが、国道や河川等によって分断されていることもあり、低層の工場・倉庫や密集した住宅及び作業所併用住宅が多く建っていた。その後、みなとみらい21地区の都市活動を支える都市計画道路「栄本町線」が整備されるのを契機に、昭和63年に「アート&デザインの街」というコンセプトを掲げ、住宅市街地総合整備事業により、都心型住宅の供給を軸に文化・芸術関連施設の集積を図るとともに質の高い街づくりを目指した。このうち、栄本町線が貫通するE-1～E-3街区（約3.96ha）は、第1期プロジェクトとして、市施行の第二種市街地再開発事業を実施し、平成6年に施設建築物が竣工した。これに隣接するF-1街区（約2.02ha）については、ポートサイド地区の核となり、また地区を牽引していけるような街づくり

を目指し、組合施行の第一種市街地再開発事業を実施し、平成15年に施設建築物が竣工した。また、個々の開発誘導にあたっては、地区の主要街区（約18.5ha）に再開発等促進区を定めた地区計画を導入したうえ、きめ細やかなまちづくりを推進するための共通ルールとして「街づくり協定」を平成元年に締結した。同時に、民間の創意・工夫を最大限に発揮しつつ特色あるまちづくりを推進するために、協定の推進運営母体として「街づくり協議会」を組織した。さらに、平成7年に公益信託「ヨコハマポートサイドまちづくりトラスト（信託財産6億円）」を発足し、街づくりに必要な環境整備、調査研究、街づくりに寄与するイベント、広報活動等を行う団体等に資金面での援助を行っている。

ヨコハマポートサイド地区 全体配置図



従前



従後

事業の評価

E-1～E-3街区は、建物デザインにとどまらず、共用部へのパブリックアート設置、旧三菱ドックの石による車止め、マンホール等へのロゴ記載、さらにはライトアップなど、「アート&デザインの街」にこだわった取組みにより、地区イメージの方向性を確立した。

F-1街区は、スーパーマーケットが入る商業棟に加え、計画地南側の店舗や業務棟、さらに東京からのゲートを考慮したツインタワー形式の超高層住宅棟建設によって、地区全体のイメージアップ、利便性向上及びにぎわい創出が図られた。また、公開スペースに国内外アーティストの作品を設置し、さらに自由通路となっている2階回廊部分には、創作活動の場としての役割を持つアトリウムやギャラリー等を設けるとともに、竣工前から市街地再開発組合主導による、料理教室やアートイベントなどの活動を行ってきた。そのことも手伝ってか、現在も多くのサークル活動が行われている。居住者からも「横浜駅至近にもかかわらず静かで治安もよく、居心地がよく住み続けたい」と評価されている。



E-1～E-3街区 完成写真



F-1街区 完成写真

再開発後から現在までの状況

F-1街区の竣工後に、横浜駅連絡デッキとそれに接続する建物がA-3街区に完成したことで、横浜駅からポートサイド地区の中心までデッキでつながった。さらに、当地区内にある棧橋を発着場所とする水上交通が、山下公園などに向かってポートサイド公園前の帷子川を運航している。ポートサイド地区の統一感を持った景観は、区民に評価され「わが町 かながわ 50選」に選出されている。

また、トラストを活用して平成6年からはじまった「アート縁日」は平成30年10月には27回目の開催となり、ポートサイド公園フェスティバルとともに、地元のイベントとして秋の風物詩になっている。各種制度の相乗効果と地域住民の愛情や活動などにより、今も良好な環境が維持されている。



E-2街区の
パブリックアート
「ザ・ファミリー」

アート縁日の様子

